

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	ジュニア・リーダー育成事業		
事業担当	健康・こども部 青少年課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'01	1 いのちを大切にできる心を持ち、社会性や規範意識を身につける環境をつくる	
根拠法令等			
対象・受益者	市内在住の中高校生	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： ジュニア・リーダーほか】		
	目的・目標		事業の概要
市内中高生が、青少年リーダーとしての必要な知識や技術を習得するとともに、子ども会などの地域活動へ積極的に参加することで、子どもたちがいきいきできる明るいまちづくりに役立っています。		リーダーとしての知識や技術を習得するため、講習会を開催します。また、ジュニア・リーダーズ・クラブ入会者には、地域行事への参加機会を提供し、リーダーとしての資質向上を図ります。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	養成講習会開催回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	8	6	6	6		
	実績	6	6	6			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	ジュニア・リーダー養成達成率				単位	%
	説明・算定式	養成講習会を終了した者のうち、ジュニア・リーダーズクラブへ加入した講習生の割合					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	70	70	70	70		
	実績	81.3	56.3	65.2			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成24年度の主な取組と成果							
養成講習会を予定通り6回実施しました。平成24年度は、養成講習会修了者が、その成果を早期に実践できるよう、ジュニア・リーダーズクラブへの勧誘を昨年より早めたこと等により、平成23年度を上回る加入率となりました。							
平成24年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民ニーズ ■ 事業目的の達成状況 ■ 市の関与の必要性 □ その他 	市民から多数の派遣依頼があり、市民ニーズがあります。また、ジュニア・リーダーの活動は市の青少年健全育成に大きく寄与しており、地域社会への貢献という点からも必要性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上位施策への貢献 ■ 市民満足度を高める方策 ■ 継続による成果向上の可能性 □ その他 	養成講習会によりジュニア・リーダーとして地区行事等に積極的に参加できる青少年が数多く輩出され、関係団体への協力や地域社会への参加を通じ、明るいまちづくりに資しており、有効性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の目的、対象、内容 □ 受益者負担、補助額 □ 業務の執行体制(人員配置、業務分担) □ その他 	少子化や核家族化の進展で、青少年が大人と接する機会が減少し、青少年の健全育成が難しくなっていますが、そうした中で、青少年をリードできる青少年を育成することは、施策として十分な妥当性があります。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務プロセス改善による効率化の方策 □ コスト削減の可能性 □ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) □ その他 	青少年の健全育成については、その性質上、コストの効率性の観点で捉えるのは適切ではありませんが、公益法人等との連携ができれば、一層の活動活性化につながる可能性が考えられます。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析				
平成24年度はジュニア・リーダー養成講習生やジュニア・リーダーズクラブへの入会者数は前年に比べ増加しましたが、依然、派遣等で実際に活動しているメンバーは減少傾向にあります。派遣等の養成に応えるためにも、養成講習会の講習生の増加に努めるとともに、クラブ入会者率を高めてクラブの活性化を図る必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		講習会、県外交流体験事業等の開催	講習会等の開催	講習会等の開催	講習会等の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	1,163	488	513	726
事業費 (A)		1,163	488	513	726
執行率 (%)		83.19	55.96	67.15	
内訳	職員 (人)	0.67	0.62	0.50	0.50
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		5,534	5,025	4,008	3,974
フルコスト (A+B)		6,697	5,513	4,521	4,700

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針	ジュニア・リーダーズクラブ会員が減少傾向にあるため、募集時期や内容等を工夫することにより養成講習生の増加を図っていきます。また、ジュニア・リーダーの養成から、クラブのサポートまでを継続的に進め、運営の活性化に努めます。
課長コメント	子ども会を初め、地域団体等の事業実施に際し、ジュニア・リーダーの活躍を求め派遣依頼が多数あり、期待も大きいものがあります。そのジュニア・リーダーを養成する講習会は、必要不可欠なものであることから、今後も事業を現状規模で継続していきます。